無所属

かいづ あつこ

文京区議会議員3期目へ

「だれひとり取り残さない」文京区へ！

あなたの一票で応援ください

あなたの「今」に間に合うように…

「かいづあつこ」の行動5原則

気づき
頂いたご相談やご意見を自分に引き寄せて考え、行動

意識
「個別の問題は、いつか誰かの問題」

スキル
ジャーナリストとして培ってきた、調査力・取材力・課題発見力・実態把握力

経験
障害のある子の子育て、親の介護等からの学び／「様々な困難は公的支援のあり方を変えれば軽減できる」という確信

使命
「置き去りにされている」という思いを抱く人を生まない施策・制度・計画にすること

プロフィール 1961年 東京都生まれ/1983年 共立女子大卒・テレビ朝日入社/1992年 社会部・政治部記者・ディレクターを経て退社。フリージャーナリストとして活動開始/2011年 文京区議会議員当選（現在に至る）/ 東洋大社会福祉学科、聖学院大児童学科元非常勤講師、認定NPO難病のこども支援全国ネットワーク電話相談員、NPO保育支援センター理事 / 教員・保育士研修・子育て支援等の講演200回以上

●著書●『発達に遅れのある子の親になる～子どもの「生きる力」を育むために』（日本評論社）、『就学の問題、学校とのつきあい方～恐れず言おう、それは「正当な要求」です』（本の種出版）、他多数

福祉
- 困難や生きづらさを抱えた一人ひとり・家庭に応じた支援体制の構築
- 介護サービスの選択肢を増やす
- 対象を限定しない、相談窓口の一本化

子育て教育
- すべての家庭をとりこぼさない子育て支援
- 子どもの多様性に応じた学習機会の確保
- 子どもの権利を守り、虐待させない仕組みづくり

防災
- 誰にでもわかりやすく、より機能的な防災計画に改善
- すべての人が安心できる避難所づくり
- 「災害関連死ゼロを目指す」文京区に

Check! かいづあつこ 公式HP

頒布責任者●海津敦子 文京区小石川4-14-24-107 印刷者●株式会社風光 豊島区雑司が谷1-10-10

まちづくり

柳町小学校、小石川図書館等、公共施設の老朽化等による建替えや改修工事が続きます。子どもが減ってお年寄りが増えていく中で、区民の課題は多様化・複雑化しています。一方で、現役世代の人口が減って税収も減って行くのに、高齢化が進んで社会保障費は増えて行くなど、区の財政は将来に向けて厳しくなって行く見通しです。だからこそ将来を見据えた公共施設にすべきです。

多機能化

一つの目的ではなく、
より多くの公共的機能を

地域の核に

ゆるやかなつながりを
生み育む場

肝心なのは設計

かいづあつこが公共施設に求める8つのチェックポイント

1. 「だれに」「なにを」提供する施設なのか、目的が明確か？
2. 解決する区民の課題が明確になっていて、かつ多様であるか？
3. 全庁的な諸課題に対応しているか？
4. 誰も排除しないユニバーサルデザインになっているか？
5. 将来、ニーズが変化した際にも柔軟に対応できるか？
6. 無駄なくフル活用できているか？
7. 多額の税金投入にも区民の納得感があるか？
8. 運営形態が適切か？

例えば図書館

「本を所蔵するための図書館」から「もっと公共的な機能」を。

色々な場所に読書や仕事、勉強のための空間があり、ユーザーが好みの居場所で過ごすことができる。公園のように開かれた空間で本だけでなく様々なメディアに触れられる。

蔵書だけの単一機能

- 地域の居場所
- 学習支援
- 子育て支援
- 不登校支援
- ひきこもり支援
- ワーキングスペース

みなさんから寄せられた「かいづあつこ」エピソード

- 担任との関りで困ったり悩んだ時に、的確なアドバイスをいただき、本当に子どもだけでなく親も心も意識も成長することができました。
- 学校での「合理的配慮」の具体例をアドバイスくださった。それにより学校生活が快適になった。
- 障がい児の息子が遊園地で乗車拒否にあってつらい思いでいた時に、すぐに動いてくれただけでなく、たくさんのアドバイスをいただきました。
- 介護のことで思い悩んでいるときに介護事業者への要望の出し方などアドバイスをもらいとても助かりました。
- ブログの内容がタイムリーで役に立つ情報を発信され、専門家の意見も踏まえられているので視野が広がる。
- 担任の先生がやる気なく、教育と思える授業をしてもらえず、校長と面談を繰り返しても良くならなくて困っていた時に相談にのっていただき、おかげで解決でき感謝しています。
- 子育てに悩んでいた時、子どもが「熱中すると周りが見えなくなって困る」と相談すると、「それだけ熱中する才能があってすごいじゃない」と見方を変えてくれ、気持ちが楽になった。

推薦します（五十音順）

脚本家 今井雅子

とにかくよく動く、人に会う。
自分の目で見て、肌で感じて、
区民の生の声を議会に届けてくれる人です。

都指定身体障害者福祉法難病専門医 高橋統一郎

年を重ねても地域で暮らせる実現に欠かせない。
医療と介護の重要性を誰よりも理解している人です。

弁護士 寺町東子

マイノリティーを包み込む人です。
保育園時代のママ友です。
すべての子どもがその子らしく過ごせる文京区に。

荒川区長・特別区長会会長 西川太一郎

子育て・教育・福祉を中心に提案し推進してこられました。
益々のご活躍を心よりご期待申し上げます。

連絡先
メール atsukok@abelia.ocn.ne.jp
住 所 文京区小石川3−30−11
3階 海津敦子事務所